

# 行政視察報告書

平成 27 年 10 月 13 日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 藤井 義明 議員  
議員 蔵本 隆文 議員  
議員 議員

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

## 記

### 【1】 高知県 高知市

住 所	高知県高知市街
電 話	
視察案件	観光客施策
期 日	平成 27 年 10 月 7 日 (水) 12 時 30 分 から 16 時 00 分 まで
応 対 者	無し
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	駅前観光情報発信館「とさてらす」 ひろめ市場、高知市街
概 要	龍馬パスポートを活用した高知県の観光の取り組み 目的: 人口減少が加速する中で、地方の活性化において観光施策は重要となっている。笠岡市においても重要施策になっているが、他地域の取り組みは、参考になる点が多い。 高知県では、県の施策としてプレミアム旅行券を出している。それは県内だけでなく県外からの旅行者に重点を置き、全国のローソンで手に入れることができる。 また、県民だけではなく、旅行者にも利用できる「龍馬パスポート」という宿泊、買い物をすることにより特典が与えられるというユニークな施策が取られている。その内容を現地で体験する。

## 龍馬パスポートの仕組み

### 1 パスポートの入手方法

龍馬パスポート申請書(申請ハガキ)にスタンプ3つ集めて「とさてらす」に持参すると、ステージ1の青いパスポートが渡される。

### 2 パスポートの種類

パスポートは、ステージ1~5まであり色分けされている。

青、赤、ブロンズ、シルバー、ゴールドである。

青から赤になるには、スタンプ6個、次は8個、48個、72個、96個いうようになる。その後は殿堂入りとなり、「とさてらす」前に木札に書かれ掲示してもらえる。勿論ステージアップ毎にもれなくもらえる賞品と、3ヵ月に1度の抽選もある。もれなくもらえる賞品は、ステージが上がる程豪華になっている。

### 3 使える店舗

登録された店舗でしか使用できない。買い物はスタンプ1つだが、宿泊は2つとなっている。

## 龍馬パスポートの手法と効果について

最近では、ポイントカードの普及により、スタンプの収集に使う方も、店舗も抵抗は無いであろう。その上で、ステージを設けて競争心を書き立てているのは上手いやり方ではないかと思われる。また、同じ店舗は押さない事になっているので、幅広い利用を促している様に思える。

現在有効期限は2016年3月31日までとしているが、延長の可能性が高い。基本的には岡岡市のぐるりんマップに似ているが、ステージを設けるなどの工夫がこらされている。

## ひろめ市場

高知城の城下に「ひろめ市場」がある。飲食店約40店舗、土産物等が約20店舗混在し、大きな屋台村の様な施設になっている。

好きな物を店舗で買って、中央にあるテーブルで食べる仕組みとなっている。高知の名物料理から、うどん類に至るまでを安く提供している。アルコール類も揃っていて、夜にはさしずめ先払いの居酒屋といった風情である。

初めての人も利用しやすく、若い女性観光客も多く利用している。

ここでの龍馬パスポートは、1スタンプだけである。

## 高知市街

駅に降り立った時点から、坂本龍馬一色である。NHKでドラマ化された後も、人気は衰えない。

龍馬パスポートの協賛店は、高知家の垂れ幕があり、それ以外の場所も至るところで龍馬をアピールしている。その光景はくどいを通り越しむしろ一体感に感じられるくらい地域が協力をしている。

また、土佐名物の鰹、鯨の看板も目を引き、名物がすぐわかる。また、他県の人から余り知らない高知の一般的な食材や産品もアピールをしている。多分高知市だけではなく、高知県内の他市に置いてもこの機会をチャンスと捉えているであろう。

	<p>視察を終えて</p> <p>この龍馬パスポートの試みは、良いアイデアであると思うが、手続きの複雑さがあり、他県からの旅行者に分かりにくい点もある。パスポートの入手方法等に、少し改良を加える事でもっと活用できるのではないかとと思われる。</p>
添付書類	○視察資料    ○視察状況写真    名刺

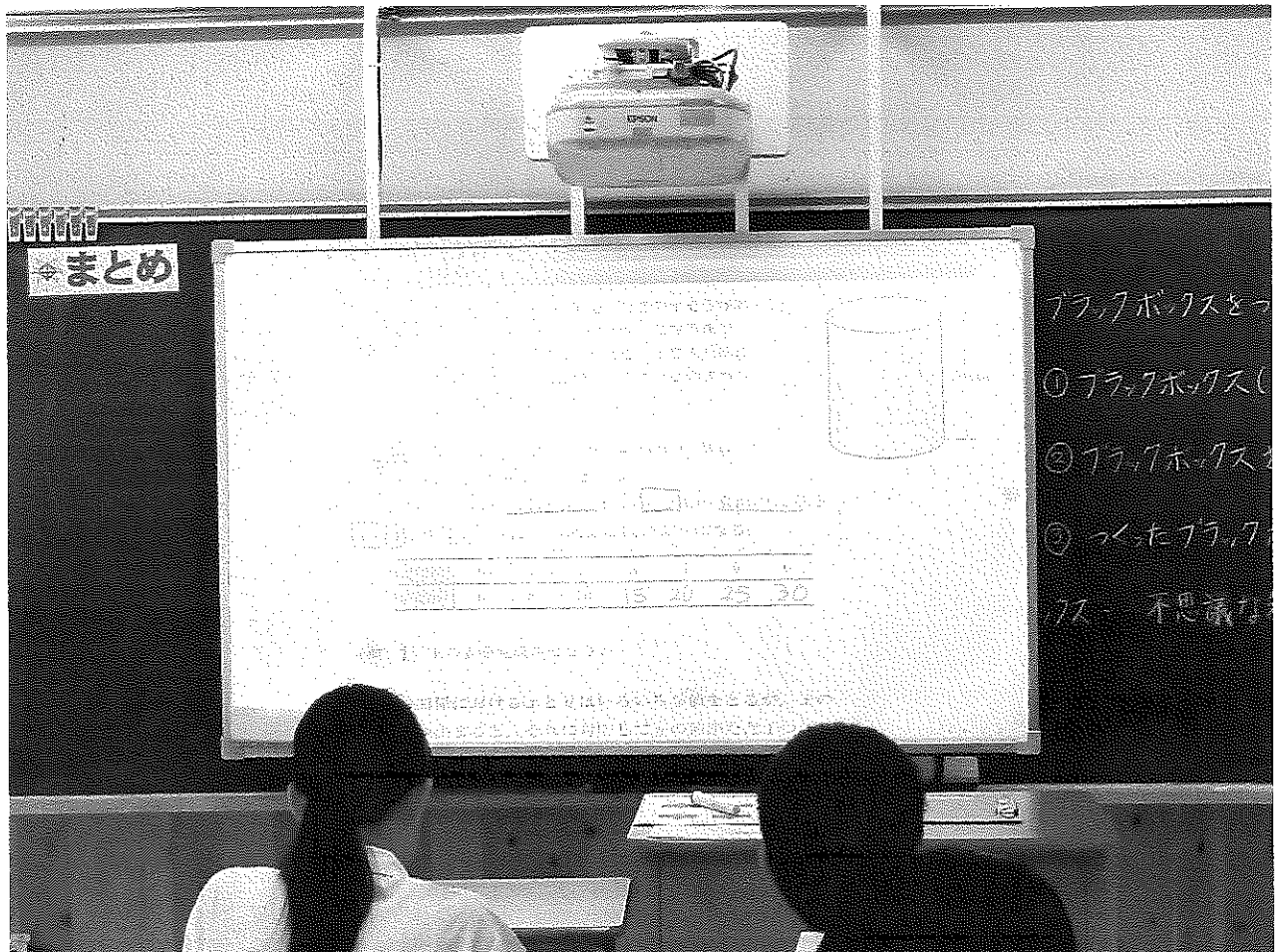
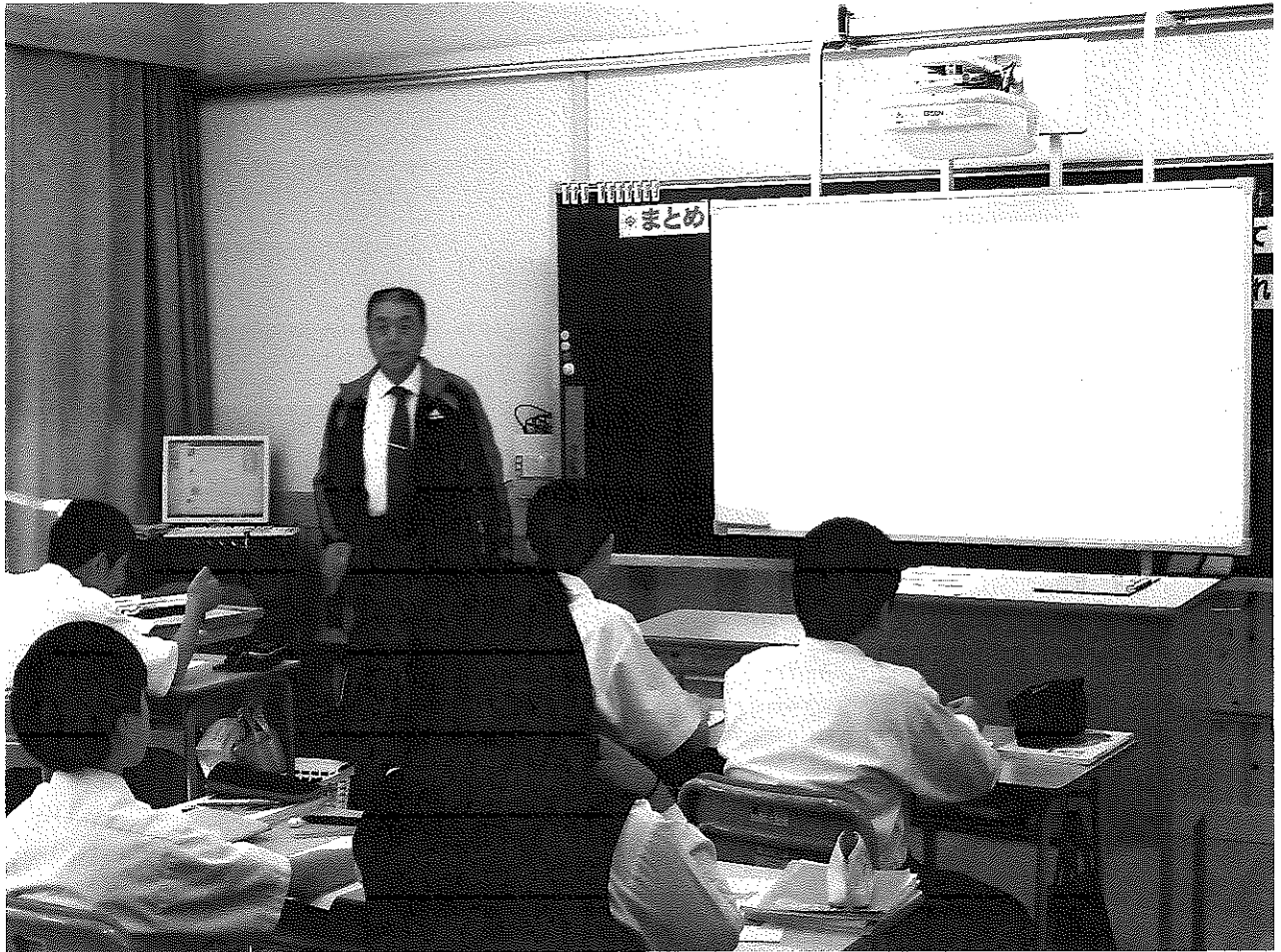
【2】

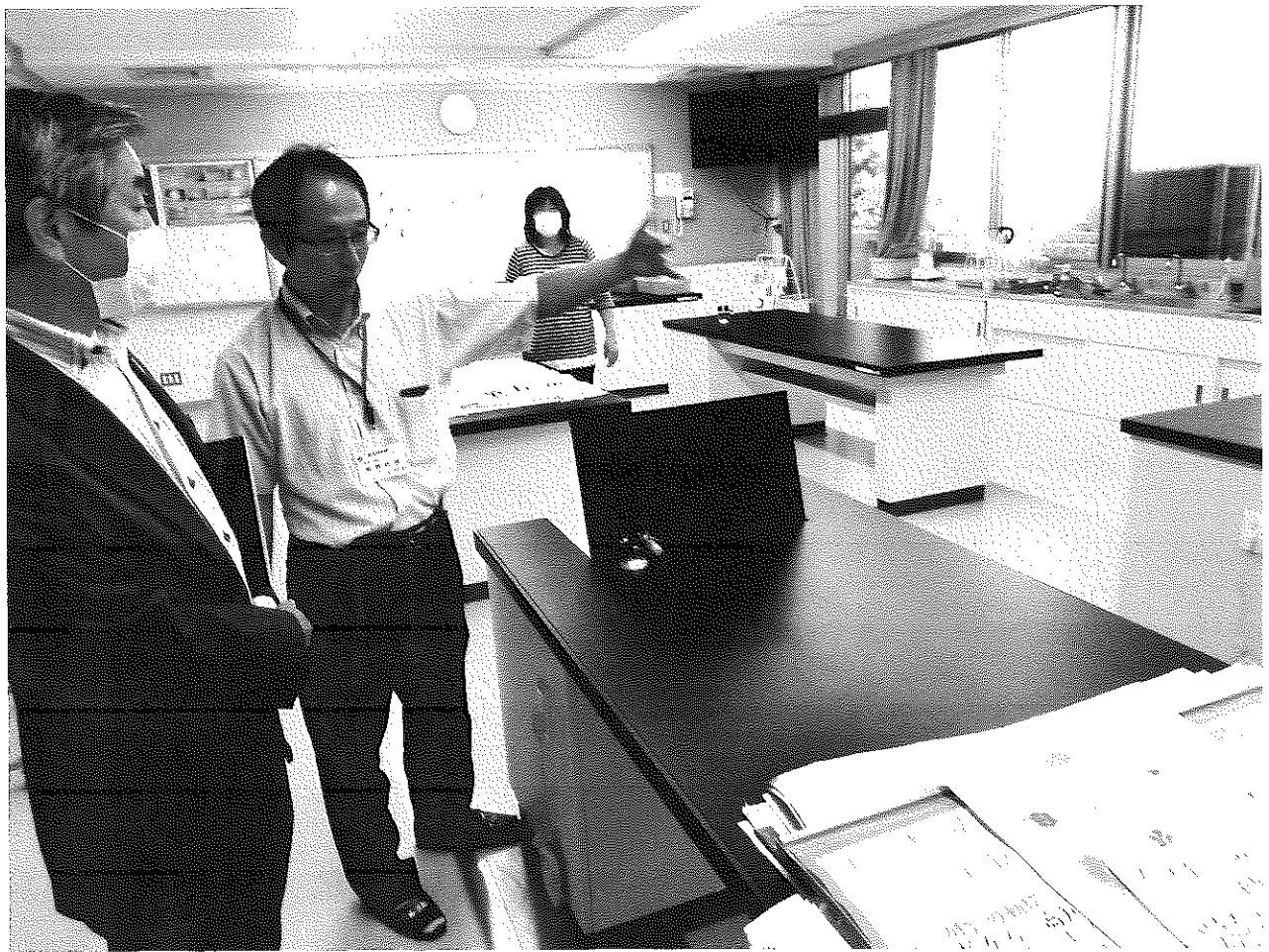
高知県

高知市議会

住 所	高知県高知市本町 5-1-45
電 話	088-823-9400
視察案件	土佐山学舎について
期 日	平成 27 年 10 月 8 日 (木) 9 時 00 分 から 12 時 10 分 まで
応 対 者	土佐山学舎 竹崎優子校長他
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	土佐山学舎(高知市立土佐山小中学校)
概 要	<p>土佐山学舎ができるまでの経緯</p> <p>この設立の根底には、人口減少による生徒数の激減で、複式学級どころか、学校の存続が危うくなった。市の方針として、この地域を存続させる上に学校の存在は不可欠である、という事を前提に進められた。</p> <p>土佐山は平成 17 年度に土佐山村から高知市に合併したが、土佐山村時代から、夜学会や青年学級等があり、地域が学ぶという風土があった。その様な風土を残した上での地域の存続、学校の存続は高知市としても大きな意味があると捉えたのである。</p> <p>全校生徒約 60 人の生徒の学校は、人口減少により複式授業を行っているが、今後の生徒の減少、複式授業の解消を図るため、近隣の学校から生徒を呼び入れ 100 人を目標にしている。そのために最新機器等を導入した特色のある学校づくりを目指し、他の学区からの受け入れを計画していた。そこに、平成 26 年 8 月台風 12 号により、学区の中学校が水没するという災害にあい、一時小学校を利用することになり、建設計画を見直し小中一体の建設となった。</p> <p>平成 27 年 4 月土佐山学舎開校となる。</p> <p>土佐山学舎の特徴</p> <p>小中合同の学校であるが、3 階建のうち、1,2 階は小学生、3 階は中学生である。小中一貫教育を目指す上で、学年は 1 年から 9 年(中学 3 年生)としている。教育プログラムは、3 ブロックに分け、とさやま「志」メソッドとし、前期ブロック(1 年～4 年)を「夢を描く」、中期ブロック(5 年～7 年)を「自分を見つめる」、後期ブロック(8 年～9 年)を「道を拓く」としている。</p> <p>教育に於ける顕著な点として、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 9 年間の英語教育の成果として、9 年目には英語で自分の言葉で主張できるようにし、グローバルな人材とする。</li> <li>(2) 土佐山学として、地域、キャリア、コミュニケーションを充実させる。</li> <li>(3) ICT の活用においては、全ての教室に電子黒板を設置し、各階に 10 台ずつのタブレット PC が用意され活用されている。</li> <li>(4) 学校行事や地域活動においては、小中一緒になって行い、お互いを育んでいる。</li> <li>(5) 小中教師間の乗り入れが可能となり、教員不足の解消や、小学生に専門的指導にあたることができる。</li> </ol>

	<p>複式学級の解消について</p> <p>各学年 10 人程度の募集を行ったが、小学校 1 年は予定以上の応募があり、選考した。後は中学校 1 年で、他の学年においては、途中ということで思ったような応募には至らなかったが、5 年後には複式解消のめどはたった。</p> <hr/> <p>開校して出てきた 問題点</p> <p>土佐山小学校は規模は小さかったが、学力では学校としては県内トップクラスであったのだが、現在では下位となってしまった。</p> <p>この原因の 1 つに、転校してくる児童、生徒は、何がしかの問題を抱えている点がある子供が多いということである。しかし、今後の指導により克服していく努力を重ね、行きたい学校として確立したい、と校長をはじめ教職員は考えている。</p> <hr/> <p>視察を終えて</p> <p>この学校の存在は、ただ学校を存続させるために行ったのではなく、地域が学びについて大人も参加する伝統と、ものづくりの意識の高い地区である、その様な地域を存続させるためである。ただ単に学校が無くなると、地域が疲弊してしまうから存続させるというものではない。</p> <p>笠岡市も学校の統廃合問題で揺れているが、今後の問題解決に向けて一石を投じるものである。</p> <hr/> <hr/> <hr/>
添付書類	<input type="checkbox"/> 視察資料 <input type="checkbox"/> 視察状況写真 <input type="checkbox"/> 名刺（前ページ）









名 刺

土佐山学舎(高知市立土佐山小中学校)

校 長 竹 崎 優 子

〒781-3221 高知県高知市土佐山桑尾13  
TEL (088)895-2003  
FAX (088)850-6904  
E-mail:tosayama-e@kochinet.ed.jp

高知市教育委員会 教育政策課  
教育企画監

和 田 広 信

〒780-8571  
高知市鷹匠町2-1-43  
TEL (088) 823-9478  
FAX (088) 823-9361



高知市議会事務局 議事調査課

課 長

山 崎 敬 造

KEIZO YAMASAKI



YOSAKOI-MATSURI

〒780-8571 高知市本町5丁目1番45号  
TEL(088)823-9400 FAX(088)823-9350  
E-mail:kc-260100@city.kochi.lg.jp

【3】 高知県 土佐清水市議会

住 所	高知県土佐清水市天神町 11-2
電 話	880-82-1112
視察案件	議会改革について
期 日	平成 27 年 10 月 9 日 (金) 9 時 00 分 から 11 時 30 分 まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	土佐清水市議会
概 要	<p>視察について</p> <p>1 通年議会 2 議会基本条例 3 議会報告会 の 3 点を重点的に行う。</p>
	<p>1 通年議会</p> <p>通年議会を検討しているなかで、平成 24 年 9 月 20 日市長より通年議会にしてほしいとの申し出があり、議会で研究を重ね、平成 26 年 1 月 1 日施行となった。</p> <p>通年議会は 2 種類あり、1 年を通じたものと、休会を挟んだものがあり、土佐清水市議会では後者を選択している。</p> <p>通年議会の必要性高まったのは、2010 年頃に阿久根市の竹原市長による先決処分及び議会の不開催問題に起因している。</p> <p>土佐清水市議会において、導入前と後でどの様な変化があったか質問したところ、「余り変わらないが、議会が主導で進めていくことを、全議員が自覚し更なる高見を目指してくれることを期待している」とのことであった。これについては、同じ思いである。</p>
	<p>2 議会基本条例 3 議会報告会</p> <p>平成 23 年 6 月施行で、笠岡市より 10 ヶ月早い。条例の見直し及び検証については、まだ本格的に行っていない。</p> <p>議会基本条例に基づく議会報告会は、年 2 回開催されている。対象地区は 5 ヶ所で、議員 12 人を 4 班に分けて実施している。班の構成はアミダくじで決定するが、他の班の応援もあるということだ。</p> <p>時間は 2 時間とし、主に予算や議決事項、議会の行動を中心にしている。やり方は、笠岡市と同じようにパワーポイントで説明をしている。</p> <p>内容は、議会の取り組みに関することを中心に、その説明に多くの時間を割いている。</p>
	<p>報告会に於ける問題点</p> <p>参加するメンバーが固定化してしまう傾向が有るため、今後は世代や目的別等を対象に開催しようと画策している。また、馴染んでもらうために、中学生、高校生による議会も開催している。</p>

	<p>その他</p> <p>今回対応していただいた議会運営委員長は、「議会の改革は、年配議員の反対が一番のネックである。だから、積極的に賛同は求めないが、邪魔はしないよう説得をする。」と言われていた。これは、どこの議会に置いても同じことが言える。</p> <p>今笠岡市で行っている、議会基本条例の条文毎の検証については、興味をしめされた。今後は、情報交換を行いながら進めて行きたい市議会であった。</p>
添付書類	<input type="checkbox"/> 視察資料 <input type="checkbox"/> 視察状況写真 <input type="checkbox"/> 名刺



名 刺



土佐清水市議会  
議会運営委員会委員長  
産業厚生常任委員会委員

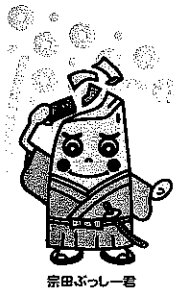
武 藤 清

土佐清水市議会事務局  
土佐清水市天神町11-2 〒787-0392  
TEL 0880-82-1112 FAX 0880-82-1122

 土佐清水市 議会事務局

局 長  
山 下 毅  
YAMASHITA TSUYOSHI

〒787-0392  
高知県土佐清水市天神町11-2  
TEL (0880) 82-1112  
FAX (0880) 82-1122  
E-mail: [yamashita\\_tsuyoshi@city.tosashimizu.kochi.jp](mailto:yamashita_tsuyoshi@city.tosashimizu.kochi.jp)



宗田ぶっしー君



足摺神のヤブツバキ

土佐清水市議会事務局

局長補佐 伊 藤 牧 子  
Itou Makiko

〒787-0392 高知県土佐清水市天神町11番2号  
TEL (0880) 82-1112  
FAX (0880) 82-1122  
E-mail: [itou\\_makiko@city.tosashimizu.kochi.jp](mailto:itou_makiko@city.tosashimizu.kochi.jp)